

キューピーとは(その 1)

年代	出来事
1903 年	ローズ・オニールがキューピッドをモチーフとしたイラストを雑誌 COSMOPOLITSN に発表
1909 年	レディース・ホーム・ジャーナルに発表。公式にはこれが KEWPIE の名称が記載された最初とされている
1910 年	キューピー第二号発表
1912 年	ドイツでビスク・ドール製のキューピーを試作
1913 年	登録第 43680 号意匠特許としてアメリカ特許商標庁に登録 この年からアメリカでキューピー狂時代が始まる
1914 年	第一次大戦勃発 キューピーポストカード発売
〃	ドイツが戦場となったために日本に注文が来るも人形の出来が良くないことを理由に直ぐに生産以来中断
1915 年	松本幸一、商標第 43 類を登録(オニールは許諾せず。以下同じ) アメリカでフルカラーのポストカード続々登場
1916 年	日本国内の絵葉書にキューピー登場
1917 年	日本で著作者に許可を得ずにキューピーを使用していたことに対する警告広告を掲載 この頃、武井武雄が紙着せ替えのキューピーを創作
1918 年	自由の女神にキューピーが誕生祝い
1919 年	中島董一郎、食品工業(現キューピー)設立
1920 年	この頃からアメリカで広告に次々に登場する
1922 年	輸出食品(現キューピー)、日本で商標第 40 類登録(オニール許諾せず)
1923 年	童謡、おもちゃのマーチ発表
1925 年	童謡、キューピーさん発表 この頃からセルロイド製キューピーが爆発的に売れる 世界初のキャラクターテーマパーク「キューピーヴィレ」
1930 年	童謡、キューピーピーちゃん発表
1936 年	世界でいち早くキャラクター丸論を提唱 キューピーコミックの連載始まる(約 30 年続く)
1938 年	中西(株)、商標第 36 類登録(オニール許諾せず)
1965 年	キューピー(株)、アメリカで登録商標取得
2008 年	大阪高裁でローズ・オニールキューピーに関する裁判結審

上の表はキューピーに関する年表です。キューピーを見たことが無い、知らないという人はまずいないでしょう。ではキューピーがどのようなものかを正確に言える方は少ないと思います。今回はキューピーについて見ていくことといたしましょう。

キューピーの生みの親がアメリカのローズ・オニール(1874~1944)であることはあまりにも有名です。そしてキューピーの初登場がレディース・ホーム・ジャーナル 1909年12月号であることもよく知られています。



ローズ・オニール



レディース・ホーム・ジャーナル
1909年12月号

キューピーは彼女の夢に出てきたキャラクターを具象化したものとも伝えられます。キューピーを KEWPIE と名付けたのもオニールです。

この愛らしいキャラクターは直ぐに評判になり、先ずアメリカで次いでドイツで立体化、つまり人形が作られます。ただしドイツの工場で作られたものはオニールのイメージからかけ離れたものだったために、自らドイツに渡って9種のサイズで原型を作りました。

ところがそこで戦争が勃発します。ヨーロッパは戦場となり、ドイツでは人形作りどころではなくなりました。そのため日本に注文をします。ところが人形の出来が良くなかったことから直ぐに依頼を中止します。しかしそれから後も生産が続いたために、アメリカでは日本で著作者に許可を得ずにキューピーを使用していたことに対する警告広告が掲載される事態となりました。この頃、日本では次々にキューピーの商標が登録されています。



アメリカ製キューピー

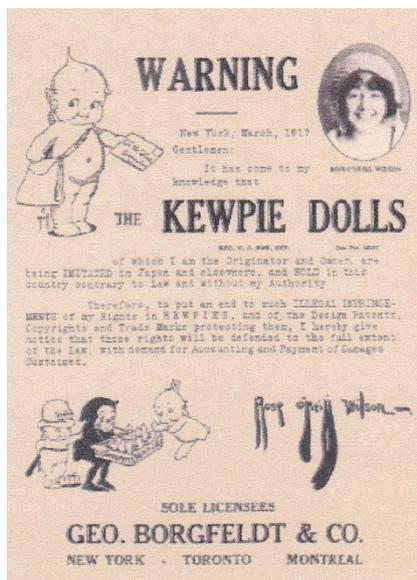


ドイツ製キューピー

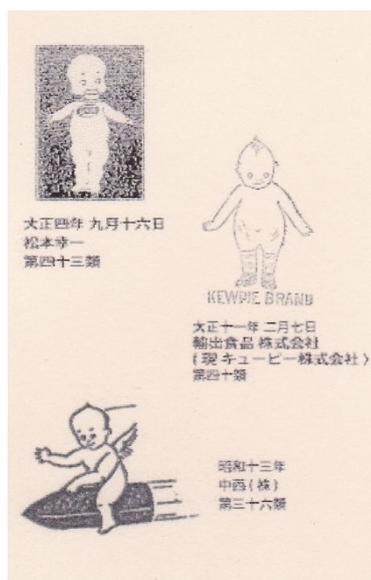


日本製キューピー

アメリカドイツはコンポジション製、日本はビスク・ドール



アメリカでの警告広告



日本で登録された商標

ではオニールの求めているキューピー像とは、どのようなものなのでしょうか。それは次回として今回はここまでとさせていただきます。